

会 議 録

1 会議名	第 1 回 南砺市社会教育委員会
2 議 題	・ 委嘱状交付 ・ 報告事項 (1) 南砺市教育委員会に係わる組織・機構について (2) 令和 6 年度南砺市教育委員会重点施策について (3) 令和 6 年度社会教育委員会に関わる当初・補正予算概要について (4) 生涯学習事業について (5) スポーツ関係事業について (6) 南砺市立図書館の取組みについて (7) こどもの権利に関する周知啓発の取り組みについて (8) 市誕生 20 年企画教育フェスティバルについて (含：第 21 回南砺市社会教育推進大会) (9) 第 55 回東海北陸社会教育研究大会富山大会・第 52 回富山県社会教育大会について ・ 協議事項 (1) 南砺市二十歳の集いについて ・ その他 (1) 当面の主な行事予定について
3 開催日時	令和 6 年 6 月 27 日 (木) 午前 10 時 45 分から午後 12 時 00 分
4 開催場所	南砺市役所 別館 3 階 大ホール
5 会議出席者	南砺市社会教育委員 出席 7 人/全 14 人 委 員：武田和一(委員長)、岩井透(副委員長)、干場健、高田篤志、 野村由佳里、前田悟志、秀永ゆかり 事務局：教育長、教育委員会教育部長、生涯学習スポーツ課長、教育総務課長、こども課長、文化・世界遺産課課長、南砺市立中央図書館館長、生涯学習スポーツ課スポーツ係長、生涯学習スポーツ課生涯学習係長、生涯学習スポーツ課生涯学習係主事
6 欠席者	委員：中川昇、嶋田充宏、唐嶋田鶴子、渡邊一美、今川浩美、橋本正俊、越山穂高
7 傍聴者	無し
8 議事内容	・ 開会 生涯学習スポーツ課長 ・ 委嘱状交付 あらかじめ配布してある委嘱状をもって交付とする ・ 開会あいさつ 武田委員長 大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。今日は令和 6 年度第 1 回社会教育委員会です。皆様方といろいろと意見を交わしながら、よ

りよい南砺市の社会教育となるようにしていきたい
と思いますので、よろしくお願いします。

教育長

1年間よろしくお願いします。

最近の情勢として、情報化が進んでいることや、南砺市でも子どもが減り高齢化が進んでいることが大きな変化だと思います。しかしながら、それをうまく生かして、市民にとっても子どもたちにとってもより住みよい社会、住みよい学校にしていきたいと、改革を進めています。この改革により、学校教育と社会教育の垣根がなくなっていき、お互いに協力しながらひとつのものとして社会や子どもたちに関わっていかうとする体制を作っていると思います。社会教育という立場からの皆様方のご意見を生かしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

・ 進行

武田委員長

・ 報告事項

(1) 南砺市教育委員会に関わる組織・機構について

事務局：(資料1に沿って説明)

(2) 令和6年度南砺市教育委員会重点施策について

事務局：(資料2に沿って説明)

(3) 令和6年度社会教育委員会に関わる当初・補正予算概案について

事務局：(資料3に沿って説明)

● 質疑応答

(3) について

委員：図書館の本について、地震で落ちて破損した分の新規購入はなかったのか。

事務局：部分的な落下で済み、幸い破損したりすることはなかった。そのため、地震による新規購入の予算要求はない。

委員：写真を見るとひどい被害だったように見える。

事務局：意外と丈夫で、買い替えるほどではなかった。

委員：学校などにある遊具は昔ほど多くはないが、ブランコなどの修繕費は予算に入っているのか。

事務局：学校内の遊具は教育総務課で管理しているが、地域の自治会など

	で購入するものについてはこども課のほうで助成制度がある。経費の2分の1を助成するといった制度で、毎年いくつかの自治会に利用してもらっている。周知もしているのでそういったものを利用してもらい地域の子どもたちが遊べる環境にしていただければと思う。 (4) 生涯学習事業について 事務局：(資料4に沿って説明) (5) スポーツ関係事業について 事務局：(資料5に沿って説明) (6) 南砺市立図書館の取組について 事務局：(資料6に沿って説明) (7) こどもの権利に関する周知啓発の取り組みについて 事務局：(資料7に沿って説明) ●質疑応答 (7) について 副委員長：ガイドブックを見ると、非常に丁寧な言葉を選んで優しく書いてあるが、児童ポルノやSNSでの被害が現実的な課題かと思っている。青少年育成市民会議でも今年は特にそういったことに力を入れていこうと先日の総会にて決まった。学校でも水泳の授業が始まる時期になり、警察では「水着で隠れるところは見せてはだめだよ」といった指導をされていると聞く。PTAや警察と連携しながら、被害に遭わないようにしなければならない。被害にあってしまうと権利のところまでたどり着けなくなるので、うまく活動していったほしい。 事務局：水着で隠れる「プライベートゾーン」については、保育園の頃からしっかり教える必要がある。小さい子はそれがいけないことだということ自体わからず被害にあっていることもあるので、保育園の頃から教えていくようなプログラムを保育園にも周知していきたい。 (8) 市誕生20年企画教育フェスティバルについて (含：第21回南砺市社会教育推進大会) 事務局：(資料8に沿って説明)
--	--

(9) 第55回東海北陸社会教育研究大会富山・第52回富山県社会教育大会について

事務局：(資料9に沿って説明)

・協議事項

(1) 南砺市二十歳の集いについて説明

事務局：(資料10に沿って説明)

●質疑応答

委員長：二十歳の集いについては、各委員にご協力いただき、これまで同様に開閉式の辞をお願いすることになると思う。また案内が行きましたら承諾いただければと思う。

委員：令和7年の対象者は何人か。

事務局：予定では395名が対象者となっている。

委員長：南砺市の二十歳の集いは20歳になった方を対象としている。いずれは18歳からにしなければならないのかどうかについても検討する必要があるが、まだしばらくは20歳が対象となっている。

事務局：委員長のおっしゃる通り、必要に応じて検討を進めていきたい。

●質疑応答

全体を通して

委員：こどもの権利に関するアクションプランについて、日本人は自己肯定感がとても低く日本全体の課題だと思っているが、成果指標の現状値が小学生は80.6%、中学生は79.6%となっている。目標値の設定根拠を教えてください。

事務局：小学生でいえば、現状値が80.6%、つまり「自分に良いところがあると思っていない」生徒が19.4%いるということ。その1割を「良いところがあると思っている」にもっていききたいといった目標値の設定になっている。

委員：今年はオリンピックがある。少子化が進み学校も働き方改革で益々部活やスポーツの範囲が狭くなる。子どもたちを育てていく能力の低下が全国的な問題として出てきているかと思う。小学生も中学生も高校生も少子化が進むとなかなかオリンピックに出るような生徒がいなくなっていくのではないかなと思う。予算の関係もあるかと思うが、コーチングやこういうものについては、なるべく予算を削らず人を採用していただきたい。先生

	の負担を減らすというのが大前提かと思うが、やはり日の丸が上がらないオリンピックがあと１０年、２０年したらくるのではないかと思うと寂しい。そういうところにはお金はなるべく使っていただき、良い人材のコーチをあてていただいて、スポーツと運営を南砺市から発信できるような体制をとっていただきたいと思っている。 事務局：少子化で子どもが少なくなる中ではあるが、市内からも世界大会などに出場し活躍している児童・生徒がおり、応援していかなければならない。教育委員会としては、指導者の確保やレベルアップに対してしっかりと支援をしていきたい。 ・ その他 当面の主な行事予定について 事務局：（資料１１に沿って説明） ・ 閉会のあいさつ 岩井副委員長 今年１月の二十歳の集いの対象者が４３４名、来年の対象者が３９５名ということで、わが母校城端中学校の１番多かった１学年の人数と同じような数字であるなと思いました。 今年度も、委員も事務局も新しく変わられた方がいらっしゃると思いますが、社会教育の大切さや進めていくことの難しさは変わるものではありません。皆様それぞれが関係する団体や組織の中で課題をもっているかと思いますが、その課題をお互いに共有しながら南砺市の社会教育が充実するよう頑張っていきたいと思いますので、今後ともご協力をお願いいたします。本日はありがとうございました。
--	--